

スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業

1. 事業の概要

廃棄物のリサイクル技術の研究・開発など環境教育を重点的に行う学校をスーパーエンバイロメントハイスクールに指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図るとともに、環境教育に関する教材を開発しています。

2. 研究開発実施校

○高松農業高等学校（令和3年度～令和5年度）

畜糞をペレット化することにより、悪臭対策や肥料としての有効活用から、燃焼によるエネルギー利用までの研究を行います。併せて、植物栽培残渣や緑地管理で発生する植物残渣をペレット化することで、マテリアル及びエネルギー利用に関する試験研究を行います。

令和5年度は、ペレット化した植物残渣による雑草抑制資材の開発に関する研究に引き続き取り組むとともに、畜糞及び植物残渣からの造粒ペレットによる燃焼試験や、堆肥のペレット化による肥料活用試験にも取り組みました。令和5年度で3年間の研究指定期間を終えましたが、これらの研究や取組は今後も継続して実施します。



○水島工業高等学校（令和3年度～令和5年度）

廃プラスチック等の環境問題に主体的に取り組み、SDGsへの貢献を図りながら多様な学びによる先進的なものづくりを実践します。

令和5年度は、スターリングエンジンによる発電の研究や、廃材を再生利用した3Dプリンタによるものづくりに取り組みました。また、令和5年度で3年間の研究期間を終えるため、その研究内容について、学校のHPに掲載して周知するとともに、冊子にまとめ県内の中学校・高等学校等へ配布しました。これらの研究や取組は今後も継続して実施します。



担当部署 教育庁 高校教育課 職業指導班